

令和元年分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

輸入は3年連続の増加で開港以来最高額、輸出は3年ぶりの減少（過去6位）

令和元年分について、輸出額は「半導体等電子部品」、「航空機類」などが増加したものの、「自動車の部分品」、「電気回路等の機器」、「自動車用等の電気機器」などが減少したことから対前年比12.5%の減少となった。また、輸入額は「有機化合物」、「半導体等電子部品」などが減少したものの、「航空機類」、「医薬品」、「事務用機器」などが増加したことから、同0.1%の増加となり、2005年の開港以来過去最高となった。

その結果、差引額は1768億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	9,342億円	▲12.5%	1兆1,110億円	+0.1%	▲1,768億円	+326.8%
	3年ぶりの減少		3年連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 半導体等電子部品	813億円	+5.9%	輸入	増加品目	(1) 航空機類	905億円	+49.0%		
		(2) 航空機類	193億円	+20.3%			(2) 医薬品	1,556億円	+23.1%		
		(3) 原動機	445億円	+7.2%			(3) 事務用機器	404億円	+35.5%		
	減少品目	(1) 自動車の部分品	399億円	▲54.8%		減少品目	(1) 有機化合物	487億円	▲35.0%		
		(2) 電気回路等の機器	440億円	▲31.4%			(2) 半導体等電子部品	791億円	▲21.8%		
		(3) 自動車用等の電気機器	238億円	▲29.6%			(3) 通信機	264億円	▲22.0%		
	主要地域 増減	EU、アジア、アメリカが減少				主要地域 増減	アメリカ、EUが増加、アジアは減少				

（参考）ドルレート・・・109.08円（前年 110.50円）1.3%の円高ドル安

（注）年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。